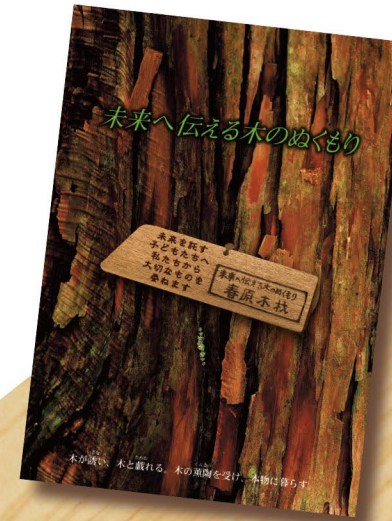


未来への^{たすき}櫛 完成見学会

信頼の邸宅づくりへ 3月13日(土)・14日(日) 午前10時～午後5時

健康&自然住宅



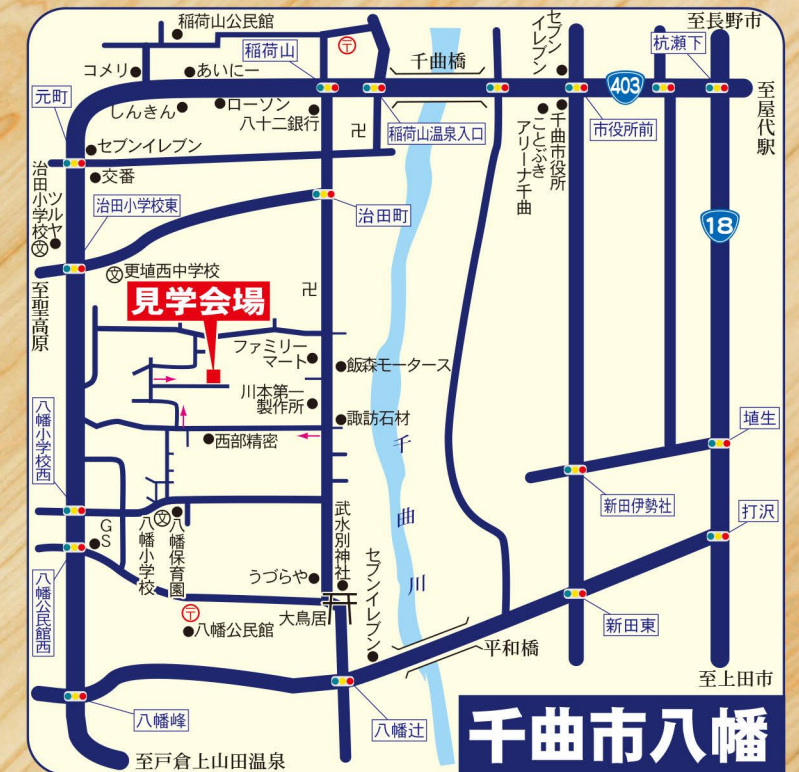
春原木材の家づくりの考え方をまとめた「春原木材らしさBOOK」をつくりました。ご来場の皆様に進呈いたします。この本は、

- 弊社がどんな想いで家づくりをしているのか
- どんな未来を築きたいのか
- お客様のためにわれわれは何をすべきなのか

社員一人一人の想いをし出し、言葉やイラストにまとめたものです。家づくりに対する熱い想い、ミッション(使命)を共有して、一丸となり同じ目標に向かって進んでいきたい、と考えて一冊の本にしました。タイトルは「未来へ伝える木のぬくもり」。われわれの想いの詰まった本を読んでもらいたいです。

100年後の子どもたちへ伝えたい
春原木材の想いが詰まった本を
つくりました

春原木材の哲学
家づくりの思想がここにあります



春原木材の「本物の木の家」が選ばれ続けているのには理由があります。木を厳選し、基礎・骨組みは決して妥協せず、耐久性を重視した家づくりが基本です。春原木材が「こだわり」を貫き通すこととは、見た目や流行ではなく、本質を知り、生涯に渡って安心できるもの、「信頼」を提供することだと考えています。

耐久性を高めるためには、家が呼吸すること

耐震性が高くても呼吸しない家は腐ります。長持ちする家づくりに最も大切なことは見えない部分が呼吸すること。高気密・高断熱化が進むにつれ、呼吸できない新建材の多用により、結露やカビの発生しやすい環境となり、建物寿命が短くなってしまいました。築100年の木造住宅が、現存しているのはなぜでしょうか？それは自然素材を適確に使い、建物を呼吸させる技術があったからです。熊本地震で倒壊した建物の原因について、建築基準法を満たした建物でも木材が呼吸できず、湿気や結露で、カビや腐食が発生したことが要因のひとつでした。家の見えなくなる部分(野地板・外壁・室内壁・壁下地・断熱材・床下)が呼吸できることが、何よりも重要であると言えます。耐震性だけでなく、長期にわたる耐久性を追求し、春原木材は呼吸する家づくりにこだわり続けます。

家に入った瞬間の「木の香り」「澄んだ空気」

春原木材で建築されたお客様や、完成見学会に来場されたお客様からのご感想で、共通するキーワードがあります。「木の香りがする」「空気が澄んでいる」などが最も多く寄せられています。春原木材の健康&自然住宅の真の目的は、「シックハウスから家族を守る」こと。有害物質が発生する工業製品を極力使わず、昔ながらの安全な自然素材と厳選された国産材を適材適所に生かしています。塗装は木の呼吸を妨げないドイツ製の自然塗料で仕上げ、静電気が起きづらく、調湿の効果があります。収納内も毎日肌に触れるものだから妥協しません。このクオリティポリシーが、お客様に「いつまでも安心して、安全に住み続けることができる本物の住まい」として、選ばれ続けている理由です。



キッチン配膳カウンター



未来へ伝える木のぬくもり
株式会社 春原木材

TEL.026-278-4111
〒381-1222 長野市松代町豊栄6414-5
ホームページ <https://sunohara-kinoie.jp>

●新型コロナウイルス感染症の対策として、会場内で密接しないために入室制限のお願いをすることがあります。※マスク着用のご来場、手指のアルコール消毒、手袋の着用をお願いなど、詳しくはお問い合わせください。



■セルロースファイバーのメリット

- ・冷暖房費の大幅削減
- ・加湿器、除湿機が不要
- ・家が長持ちする
- ・遮音性が高い
- ・高密度で、断熱欠損が少ない

呼吸する断熱材

自然素材の「呼吸する断熱材」を体感

セルロースファイバーが持つ調湿性に加え、心地よさの秘密は「容積比熱」にあります。

「冬場に家の中に入っても息苦しさを感じない」

「夜中に暖房を切っても朝はふんわりと暖かい、他の断熱材と明らかに違う」「空気がさわやか」など、アンケート結果でも体感による評価が高いです。

セルロースファイバーは、外気温が室内の温度に影響を及ぼしにくく、同程度の熱伝導率を持つ他の断熱材の住宅にはない快適性が体感できます。

セルロースファイバーは、容積比熱がグラスウール 16Kの約7.7倍も優れているため、その蓄熱性の高さから室内まで冷気が入りにくくなるのです。

セルロースファイバーは施工密度が高く、断熱材使用量が多いため、施工に時間がかかりますが、容積比熱という考え方では逆に他の断熱材と比較して、冬の快適性にも優位に働くことが明らかになりました。

●断熱材の性能比較

セルロースファイバーとグラスウール16K

	熱伝導率 (W/mK)	比熱 (kJ/kgK)	密度 (kg/m³)	容積比熱 (kJ/m³K)
セルロースファイバー	0.040	1.88	55	103.40
グラスウール16K	0.038	0.84	16	13.44
比較	1.05倍	2.24倍	3.44倍	7.69倍

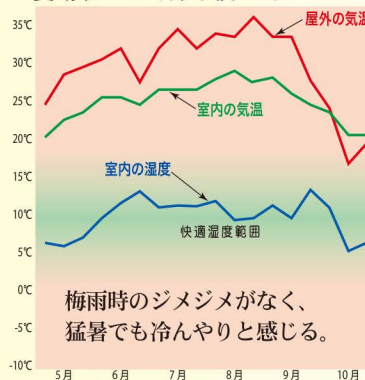
●屋外と室内の温湿度の比較



1年を通して室内が、人間の快適湿度 40~60%に機械を使わずに保たれます。外気の影響を受けにくく、室内温度が安定し、常に快適な環境を実現します。

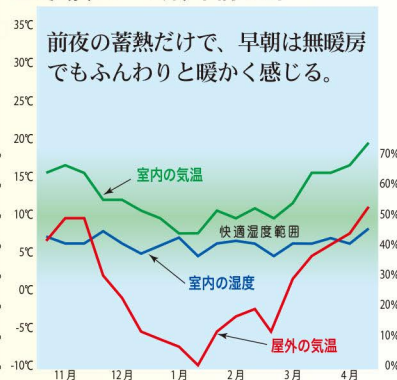
●季節による屋外の気温と室内の温湿度の変化

■夏場(5~10月)午後1時



梅雨時のジメジメがなく、猛暑でも冷んやりと感じる。

■冬場(11~4月)午前6時



前夜の蓄熱だけで、早朝は無暖房でもふんわりと暖かく感じる。

データで解る、呼吸する自然素材の家

■火山灰シラス壁のメリット

- ・高い断熱性能がある
- ・耐候性に優れている
- ・メンテナンスフリー
- ・臭いや化学物質を吸着する
- ・夏は打ち水OK! 気化熱で室温低下

呼吸する外壁

地球がつくった 100%自然素材

シラス壁の原料は、南九州を産地とした火山噴出物で、100%自然素材です。マグマにより超高温で焼成した無機質のセラミックで、「マグマセラミック」と呼ばれています。一般的な火山からの噴出物は、環境による化学反応が起きてしまいます。このため経年変化で耐久性が問題となりますが、シラスは火山噴出物の中でも特異な性質を持っており、化学変化を起こさないことが特徴です。

シラスは非常に細かい微粒子の中に、無数の穴が開いた複雑な構造をしています。これにより優れた調湿機能があります。またガスの吸着性能が高く、シラス粒子中の空洞に臭い分子や化学物質を吸着してくれ、消臭・分解、殺菌、イオン化などの機能を発揮すると考えられます。

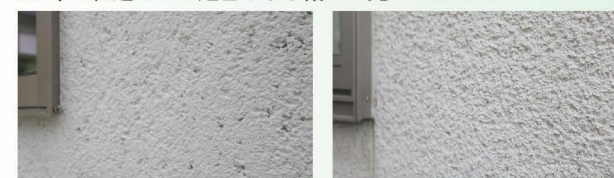
この極めて複雑な構造と成分比率は、人工的にはつくることができない素材です。マグマセラミックは地球が与えてくれた、大切な贈り物なのです。

シラス壁には透湿性があります。下塗り材には、空気や水蒸気は通しても雨水は通さない超微細なシラス粒子を使用することで、雨水浸透限界線がつけられます。上塗り材との2層仕上げによって防水と透湿の機能が両立し、表面の防水処理は不要です。

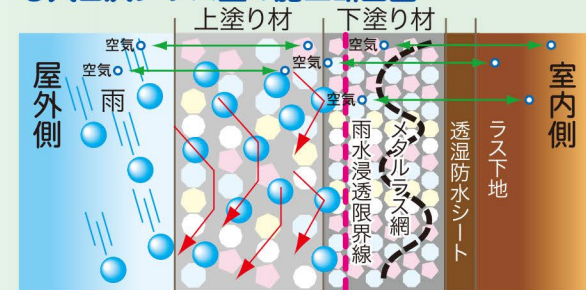
多孔質なシラスは、透湿性に極めて優れています。表面の防水塗装が要らないため、壁内部の湿気が壁表面から放出され、建物の柱や土台などの骨組みを、湿気による結露やカビの被害から守ります。

●外壁の経年変化を比較

新築直後(左)と築18年経過(右) ※表面の仕上げが異なります
18年を経過しても退色やひび割れが見られません



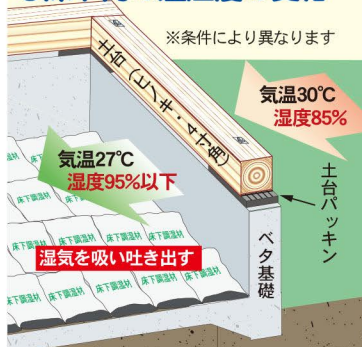
●火山灰シラス壁の施工断面図



呼吸する壁材 珪藻土

近年、住宅の高気密化により問題視されている「床下結露」。この結露が原因で、木材の腐食が発生します。これを防ぐ切り札として「木炭」が高い効果を発揮します。木炭は吸放湿する作用があります。この優れた調湿効果により、カビやシロアリの発生を未然に防止します。

●床下内の温湿度の変化



呼吸する収納 スギ無垢板張り

収納などせまい空間は有害物質の濃度が高くなります。そこで春原木材では、すべての収納内部を国産スギの無垢板張りが標準仕様。衣類や寝具など毎日、肌にふれるものを、自然素材の力が守ってくれます。木の呼吸作用で結露を防ぎ、ホルムアルデヒドなどの心配もありません。

呼吸する荒床 ヒノキ無垢板張り

畳の下地材は、ヒノキの荒床(無垢板)。合板だと畳の湿気を吸いきれず、カビやダニの発生の原因となります。ヒノキは呼吸し、抗菌効果もあるので畳にも人にもやさしいのです。

未来へ伝える木のぬくもり

株式会社 春原木材